

停電の備えはできていますか？

停電の原因は様々です！

自然災害……台風、地震、雪など

電柱や電線に接近している樹木は、強風で倒れたり、接触して断線させるなど、事故を起こす恐れがあります。
電気室やキュービクルの扉や扉は、強風で開いたり、外れたりすることがあります。



小動物の侵入

わずか10mm程度の隙間からでも、ヘビやヤモリなどの小動物は侵入します。ケーブルの配管ルートの中でのネズミによる被害、ハトやカラスによる柱上の事故も少なくありません。



機器の経年劣化

月次・年次等点検で「電気設備の技術基準」に適合していない箇所や、安全のため改修のお願いや電気設備の更新時期をお知らせしています。改修のお願い箇所をそのまま放置されますと、重大な事故につながる恐れがあります。

また、事故後の改修費用は高額になることも少なくありません。

■ 更新推奨時期

通常の環境下で、通常の保守・点検を行って使用した場合に、機器構成材の老朽化などにより、新品と交換の方が経済性を含めて一般的に有利と考えられる時期です。



人的災害

- 作業者の過失(作業員の感電事故・墮落による埋設ケーブルの破損など)
- 公衆の過失(車両衝突による電柱の倒壊など)
- 火災など



停電事故が起こるには必ず原因があります。
早期の備え、対策が重要です。

設備改修や対策を行うときには、事前に電気管理技術者にご相談・ご連絡をお願い致します。

指示してご利用ください。

